

氏名	植野 正之	部署	健康開発学科	職名	教授
研究分野	口腔衛生学、予防歯科学、国際歯科学、公衆衛生学、行動科学				
学位	修士（公衆衛生学）、博士（歯学）				
学歴	東京医科歯科大学大学院歯学研究科予防歯科 博士課程 カリフォルニア大学パークレー校大学院公衆衛生学部行動科学科 修士課程				
経歴	2008年～2010年 東京医科歯科大学大学院健康推進歯学分野 助教 2010年～2018年 東京医科歯科大学大学院健康推進歯学分野 准教授 2018年～現在 埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科 教授				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本口腔衛生学会、口腔病学会、日本口腔外科学会、IADR、日本歯科衛生教育学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	はっきりあじがわかるかな？	共著	978-4-323-03663-2	金の星社 32ページ	監修：植野正之 編者：WILLこども知育研究所	2021.4
2	心とからだの健康	共著	978-4-7797-0556-4	建学社 78ページ	著者：植野正之 編者：学校保健教育研究会	2021.6
3	メンテナンスが増える患者説明超入門	共著	978-4-7812-0851-0	クインテッセンス出版株式会社 127ページ	共著者：植野正之	2022.1
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	Cost-Effectiveness Analysis of Perioperative Oral Management after Cancer Surgery and an Examination of the Reduction in Medical Costs Thereafter: A Multicenter Study	共著	あり	○	International Journal of Environmental Research and Public Health 18(14), 7453	Hideki Sekiya, Yasuhiro Kurasawa, Yutaka Maruoka, Hitoshi Mukoyama, Akihide Negishi, Shiro Shigematsu, Junpei Sugisaki, Masaru Ohashi, Shiro Hasegawa, Yutaka Kobayashi, Masayuki Ueno, Yukihiro Michiwaki
2	学童期の子どものう蝕および歯みがき習慣と家庭・生活状況との関連についての一考察	共著	あり		口腔衛生学会誌、第72巻第1号、34-41	中山真理、植野正之
3	子どもが自分の生活習慣ならびに健康を前向きに考えるための一考察	共著	あり		日本歯科衛生学会雑誌、第16巻第2号、66-74	中山真理、植野正之
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	質問票による自己申告の歯周病の妥当性について	単		第70回日本口腔衛生学会・総会 Web開催	○植野正之	2021.5
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		真猿類マーマーセットの口腔内細菌メタゲノムを活用した次世代型口腔衛生の先駆モデル	研究分担者		2021.4～2022.3

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	口腔保健情報管理学	○	8	う蝕や歯周病に関する指標、疫学・統計学的手法、データの収集・スクリーニング、日本と世界の統計調査について事例を交えて解説を行った。
2	衛生行政	○	8	歯科衛生士と法規、医療関係職種とその法規、社会保障制度・社会保険、社会福祉・公的扶助について分かりやすく解説した。
3	基本統計学	○	15	統計学の基本的概念、研究のプロセス、変数の測定レベル、母集団と標本、パラメータの推定、帰無仮説有意性検定、ベイズ統計、グラフなどのデータの視覚的表現法、各種確率分布、バイアスについて演習を交えて指導を行った。
4	口腔保健科学概論		2	日本と外国における歯科衛生士教育と臨床について写真や動画を活用し解説を行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	口腔衛生学Ⅰ	○	15	口腔衛生学の意義、歯・口腔の正常像と機能、歯・口腔の異常、口腔内の不潔物、う蝕の発病および予防法、フッ化物の応用について具体例を示しながら分かりやすく解説した。
2	口腔衛生学Ⅱ	○	15	歯周疾患、不正咬合、口内炎、顎関節症、舌痛症、口腔がん、口腔乾燥症の発病機構および予防法、地域保健について具体例を示しながら分かりやすく解説した。
3	う蝕予防処置論	○	30	小窩裂溝充填塞法などの効果的なう蝕予防法および各種フッ化物応用法について実習を交えて指導を行った。
4	口腔保健実践特講		2	海外における歯科保健状況の最新トピックと歯科衛生士免許制度について解説した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW実習		2021.9～2021.10	教員ファシリテーターとして、施設のファシリテーターと連携を取りながら、チームの学生の実習前後および実習中において必要な指導と相談を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2021.4～2022.1	主指導	5名 副指導 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	アドバイザーグループミーティング	2021.4～2022.3	学年間交流のアドバイザーとして学生13人に対し助言を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研究会、公開講座等の講師				
	講演会、研究会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	食育セミナー（Web開催）	東京都調布市保健センター	味覚について学びましょう	2021.7
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本口腔衛生学会	学術委員・査読委員		2021.4～2022.3
2	日本歯科衛生教育学会	査読委員		2021.4～2022.3
3	口腔病学会	評議員・査読委員・会計監査員		2021.4～2022.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会	2021.4～2022.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	個人情報管理者	2021.4～2022.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	教員人事委員会	2021.4～2022.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		